

平成29年(2017年)

2月24日

第24号

躍 動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会

〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 03-3647-4887

江東区体育協会ホームページ：<http://www.kototaikyo.gr.jp/>

体協発展に さらに努力を！

「新年あいさつ」

会長 梶原 克之

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の各連盟、協会の皆さんの活躍を顧みますと、都民大会において男子の「軟式野球」、女子の「陸上」「弓道」の種目で優勝を飾り、また、公開競技ではありましたが、男子の「ハンドボール」、女子の「少林寺拳法」でも優勝し、総合成績では男子4位、女子2位という輝かしい成果を収めることが出来ました。また、墨東五区大会等各種大会での活躍ぶりも目覚ましいものがありました。これも皆さんの日ごろの鍛錬の成果の賜物と存じます。今年も好成績を心待ちにするとともに、体育協会としても活躍の後押しを行ってまいります。

また、昨年は体育協会役員の改選が行われ、メンバーを一新し、新たな船出となった一年でもありました。現在、体育協会においては、競技力の向上のみならず、指導者の発掘・育成やジュニア世代の育成など多くの課題に取り組んでおります。3年後の2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の中心地として、江東区のスポーツ環境が大きく変貌を遂げていく中で、区のスポーツ振興を支える主体の一つとして、大会に向けた気運醸成にも一層取り組んでまいります。各連盟・協会の皆様のご理解とご協力を引き続きお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝ご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



2016年各団体活動状況

連盟・協会それぞれの競技等においてチームが丸となって戦い抜き、素晴らしい成果を上げられました。

日頃、各団体の皆さんが活動されている様子などを紹介いたします。

陸上競技協会

「江東陸協の28年度を振り返って」

理事長 熊原 誠一

今年度江東区陸上競技協会の事業計画は下記の通りであった。

平成28年度 江東区陸上競技協会事業計画

1. 競技会

月	日	曜	事業名	場所
4	24	日	江東区春季陸上競技大会(主催)	夢の島競技場
5	29	日	江東区陸上競技選手権大会(主催)	夢の島競技場
6	5	日	都民陸上競技大会(選手派遣)	駒澤陸上競技場
8	11	祝木	墨東五区陸上競技大会(主管)	夢の島競技場
8	20	土	江東区ナイター陸上競技大会(主催)	夢の島競技場
9	4	日	江東区民陸上競技大会(主管)	夢の島競技場
10	10	祝月	江東区秋季陸上競技大会(主催)	夢の島競技場
11	3	祝木	江東区ロードレース大会(主催)	荒川砂町水辺公園
11	27	日	江東シーサイドマラソン大会(主催)	夢の島競技場
1	8	日	江東区民駅伝競走大会(主管)	夢の島競技場
3	5	日	墨東五区駅伝競走大会(主管)	夢の島競技場
3	12	日	都民駅伝競走大会(選手派遣)	武蔵野の森公園
3	20	祝月	江東区健康マラソン大会(主催)	荒川砂町水辺公園

2. 陸上教室

月	日	曜	事業名	場所
5	7	土	第1回 江東区少年陸上競技教室	夢の島競技場
5	21	土	第2回 江東区少年陸上競技教室	夢の島競技場
6	25	土	第3回 江東区少年陸上競技教室	夢の島競技場
7	2	土	第4回 江東区少年陸上競技教室	夢の島競技場
7	9	土	第1回 江東区「育成陸上競技教室	夢の島競技場
8	14	日	第2回 江東区「育成陸上競技教室	夢の島競技場
8	27	土	第3回 江東区「育成陸上競技教室	夢の島競技場
9	17	土	第4回 江東区「育成陸上競技教室	夢の島競技場
9	24	土	第1回 江東区少年陸上競技クリニック	夢の島競技場
10	8	土	第2回 江東区少年陸上競技クリニック	夢の島競技場
11	19	土	第3回 江東区少年陸上競技クリニック	夢の島競技場

競技会は計画通りに実施され、区内外の多くの競技者の参加を得て盛大に開催することができた。まだ3月の大会予定が残ってはいるが、来年度をより充実した大会とするために大会要項などを検討している。

陸上教室は29年度以降も、かつて陸上教室に参加していたリオ・オリンピック銀メダリストのケンブリッジ飛鳥選手を目標に、小・中学生の将来の成長を見通しながら実施内容を充実させたいと考えており、来年度もより多くの小・中学生の参加を期待している。



ゲートボール連盟

「全日本ゲートボール選手権に参加して」

江東区「ブレイブ」代表 生田 太
平成28年11月5～6日に愛媛県松山市で行われた第32回全日本GB選手権大会に東京都代表としてチーム「ブレイブ」が参加してまいりました。大会の会場はJリーグの公式戦でも使用されるニンジニアスタジアムという天然芝グラウンドで、芝目には多少癖はあるものの、凸凹も傾斜もあまりなく、非常に気持ちよくプレーできる環境でした。

全日本選手権は、ゲートボールの日本一を決める大会ということで、他の全国大会に比べて一段「格」が高い印象があり、そうそうたるチームが全国各地から集まっていました。我々ブレイブチームは、群馬、福岡、三重と過去三回の全日本選手権出場経験があったのですが、直近二回の大会では一次リーグ敗退でした。東京代表の看板を背負って参加しているので、「あまり不甲斐ない成績は残せない！」との覚悟でした。

我々の一次リーグ対戦相手は、岩手、沖縄、岡山の三県でした。一次リーグを2勝1敗の成績で突破し、二次リーグへの進出を決め、当初の最低限の目標を達成することができました。

二次リーグの対戦相手は、埼玉、兵庫、青森の三県となりました。二次リーグは残念ながら三敗に終わり、二次リーグ突破の壁はまだ高いと感じました。

東京予選は好成績を残すことができていますが、全国大会に行けば成績が振るわない状況を今一度見つめ直し、日々練習に励み、全国大会上位に食い込めるよう努力していく所存です。



サッカー連盟

理事長 上田 崇雄

平成28年11月13日から12月4日まで、江戸川区で開催された第46回墨東五区大会で、少年の部は決勝戦まで進み、足立区と1対1で延長戦になりました。しかし、決着がつかずPK戦となり、見事4対2で勝ち優勝を果たしました。一般の部は第3位となり、総合では準優勝でした。

年が明けた平成29年1月14日には、江東区少年サッカー連盟の創設30周年記念式典が砂町文化センターで開催され、これまでの歴史を振り返るとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を視野に入れた少年育成について、抱負を語り合いました。



「第46回墨東五区大会少年の部優勝の江東区代表」



「江東区少年サッカー連盟創立30周年祝賀会」

ダンス連盟

理事長 津野 光昭

平成28年6月4日(土)第69回都民体育大会春季大会ダンススポーツ団体戦が、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。区市町村対抗28チームで競い合いましたが、残念ながら入賞を逸し、12位の成績でした。

平成28年10月9日(日)第70回区民体育大会ダンススポーツ大会が、江東区文化センターで開催されました。家族、観客の大きな声援を受け、総勢33名の参加者による熱い戦いの結果、吉永恭一・原園豊子組が、見事区長杯優勝に輝きました。



テニス連盟

「29年度都大会にむけて」

副理事長兼都民大会総監督

向高 博志

テニス連盟では次年度の都民大会に向けて、選手選考大会は例年4月の区民体育大会と併せて11月に連盟主催の秋季ダブルス大会を開催しております。11月の大会は日本最高峰の実業団大

会に出場している選手や元全日本選手等、例年に無いレベルの高い大会となり、熱く厳しい試合が繰り広げられました。平成28年度の都民大会は女子が第3位、男子が初戦敗退という結果でしたが、来年度はより上位を狙える布陣になると思います。



バドミントン連盟

会長 山本 香代子

平成28年5月8日、15日に開催された都民大会は、男女ともに優勝かと思われる勢いで勝ち星を挙げていきましたが、悲運にも選手がアキレス腱断裂、それも男女ともにといい考えられないアクシデントに見舞われ、女子3位、男子5位という結果に終わりました。しかし、6月12日墨田区にて開催されました墨東五区バドミントン大会においては、江東区男子・女子チームがそれぞれ優勝して、総合優勝を取り、3連覇という大偉業を成し遂げたのです。大会は、リーグ戦方式で行われ、男子チーム、女子チームとも全ての区に勝ち完全優勝でした。墨東五区大会57年の歴史の中で、同一区による男女揃っての優勝は8回。そのうち江東区は6回の優勝を飾っていますが、3年連続男女揃っての覇者は史上初となります。

7月21日には盛大なる祝賀会を開催し、選手と協会役員全員でこの偉業を祝いました。皆様から頂いたご声援にお応えできるよう、今後も一致団結、皆で頑張っていきます。

墨東五区大会で活躍した選手の紹介

男子 平山卓哉（監督） 松尾邦正（主将）
井川 佳 蛭田雅樹 石川佳樹 白藤 翔
山田雄一 神戸貴也 斉藤亮太 武田直哉
女子 笹田麻耶（監督） 岡本麻貴子（主将）
二口文香 川端茉美 金本紗里 大村佳奈
関澤麻衣 渥美悠花里 目崎なつみ



バレーボール連盟

会長 飯塚 明

当連盟は、一般男子16チーム・一般女子11チーム・家庭婦人61チームの合計88チーム構成となっており、総人数は1,000人超の状況です。年間の試合としては、一般男女は春・秋の区民大会と、連盟大会があり、6人制大会と9人制大会を各4回開催しています。

家庭婦人は9人制で春・秋の区民大会と連盟主催の部別大会を各2回開催しています。部別大会は入れ替え戦となっており、1部から8部まであり、勝敗により各部2チームが入れ替えとなります。部別大会の試合に各チームは照準を合わせ日々厳しい練習を行い、上部へ昇格することが、お母さん達の大きな目標であり、毎回熱い戦いとなっています。またチーム数が多く、連盟としては、試合会場の調整が現在の重要課題となっている状況です。



28年度の墨東大会は7月10日(日)に葛飾区で開催され、5競技で選手は頑張ってくれましたが、各々僅差ではあったものの良い結果を出すことができませんでした。

輝かしい結果となったのが、全国青年大会男子9人制において、東京都代表として江東区選抜チームが昨年に引き続き優勝し、全国大会二連覇を達成することができ、たいへん嬉しく思っているところです。

2020年東京オリンピックのバレーボール競技は、江東区有明地区での開催予定ですので、これからもいろいろな形で協力していきたいと考えております。



レクリエーション連盟

「健康長寿を目指して…ファミリーキャンプやウォークラリーが好評」

会長 菅原 光雄

いま大切なことは健康長寿…江東区レクリエーション協会は、いくつになっても、心身共に健康で、元気な社会生活を送ることを目的に、いろいろなレクリエーション活動を実施していま

す。

平成28年度の主な活動は、区民ファミリーキャンプや東大島ふれあいまつり、亀リンピック、江東区民まつりのウォークラリー、そして新春恒例の深川七福神めぐり…など。特にウォークラリーは、新しいタイプのスポーツとして人気が高まっております。

これからも、各世代にわたるライフスタイルを考え、楽しく魅力あるレクリエーション活動を展開していきます。



合気道連盟

「誰でも楽しめる合気道」

会長 小林 正明

江東区合気道連盟は発足以来、昨年で創立36周年を迎えました。

現在、連盟の活動は深川スポーツセンターと江東区スポーツ会館の2ヶ所で行っております。

平素の稽古は、こどもから高齢者まで、それぞれの技量に応じ、無理のない方法で行い、また、有段者には、技の内容を掘り下げた指導でレベル

アップを図っております。稽古は、両施設で火、水、金（不定期に土、日）で、月15日から20日程度行っております。

年間の行事としては、5・10月の合気道教室、6月の講習会、9月の合宿、11月に演武大会を実施し、その他全日本、東京都、近隣区、交流団体との演武大会、講習会に参加しております。



エアロビック連盟

「シニア対象講習会」

事務局長 矢部 敦子

今年度の体育祭行事として10月23日（日）有明スポーツセンターにて「江東区エアロビックフェスティバル」を開催しました。関西よりエアロビックチャンピオンの野村健一郎さんを講師としてお招きし、シニア対象の「機能改善健康体操」講習会を行いました。

また、当連盟会長の今村晶子が、公益財団法人日本体育協会の「平成28年度公認スポーツ指

導者等表彰」を受賞し表彰盾をいただきました。表彰式は12月10日（土）TKPガーデンシティ品川にて行われ、これまでの指導者育成や組織化に対する顕彰の栄誉に輝きました。

今後も区民の皆様様の健康づくりと競技としてのエアロビックを推進して参ります。今後ともエアロビック連盟を宜しくお願い致します。



クレージュ射撃連盟

理事長 幸田 崇宏

クレージュ射撃は、散弾銃を使用してクレージュという直径11センチの粘土でできたお皿を打ち落とす競技です。

クレージュの飛翔方向や射撃をする位置等に違いがあり、大きく分けてトラップとスキートの2種類の競技があります。

当連盟では、毎年3月の体育の日参加クレージュ射撃大会（代表選手選考会）及び10月の区民大会を主管すると共に4月には春季連盟対抗クレージュ射撃大会、5月には東部七区大会及び都民大会へ代表選手を送り出しております。

また、関連団体である区内の鉄砲安全協会や猟友会による射撃大会もそれぞれ年に1～2回程度開催されており、会員同士の交流を図る一助となっております。

毎年3月に行われる代表選考会では、連盟対

抗・東部七区・都民大会への出場選手の選考をおこなっており、年齢や性別等に拘らず区の代表選手として活躍することが可能です。

区のゼッケンを背負って行う射撃では、普段の練習では得られない経験や醍醐味を味わえると思います。

しかしながら、近年は射撃人口の減少から会員数も減少の一途をたどっており、それに伴い区民大会等への参加選手も減少しております。

区内在住・在勤の射手の方々でも未だ大会等に出場経験のない方々もおられると思いますので、この「躍動」をご覧になられましたら、是非、区民大会等へのご参加を頂き一緒に楽しんでいただくと考えております。

なお、大会日程等は可能な限り体育協会ホームページ等に掲載させて頂く予定ですが、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さい。



中学校体育連盟

理事長 小林 一志

平成28年度の中体連は、都大会や関東大会を勝ち進み、見事全国大会出場を果たした生徒が多くみられましたのでご報告します。

以下の選手たちが、激戦を勝ち抜き、年一回の全国大会出場を果たした選手たちです。

全国大会出場

第43回全国中学校テニス(硬式)選手権大会出場
男子シングルス 福島琉汰 (深川三中)

第43回全国中学校陸上競技大会
女子100m 鈴木一葉 (深川三中)
男子四種競技 小俣靖二郎(深川三中)
女子4×100mリレー (深川三中)
近藤怜・佐久間由奈・府川未来・鈴木一葉

第56回全国中学校水泳競技大会
女子100m平泳ぎ 阿部恋奈 (深川四中)
女子100mバタフライ
小野寺はな(深川七中)
女子200mバタフライ
小野寺はな(深川七中)
女子100m自由形 玉置寧々 (大島中)

第46回全国中学校剣道大会
男子個人戦 阿比留宏貴(深川二中)

第47回全国中学校体操競技大会
女子個人総合 遠藤結菜 (第二南砂中)

また、江東区の全中学校で、2020年に向けて、オリンピック・パラリンピック教育の推進校として様々な取り組みを行っています。その取り組み内容をほんの一部ですがご紹介したいと思います。

多くの学校が講演会形式でオリンピック・パラリンピックで活躍された選手を学校へお招きし、

競技に取り組んできた生き様や夢に向かう姿勢等のお話や、中学生に向けての熱いメッセージもいただきました。

他に、体幹トレーニングの第一人者の指導者等をお招きし、怪我をしない体づくりの方法等実技を交えて教わったりしています。他にも、諸外国のことを調べ、発表をしたり、給食のメニューに諸外国のものが出来たり等、確実にしっかりと2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向けて中学生も学習に取り組んでいます。



卓球連盟

理事長 山崎 積

平成28年11月27日(日)墨田区総合体育館に於いて、平成28年度墨東五区卓球選手権大会が開催されました。

卓球競技については、春の団体戦、秋の個人戦と年二回行われ、この大会は各区で予選を勝ち抜いた代表選手が男・女一般・30・40・50・60・70歳のクラス別の中でチャンピオンを

指して競い合います。今大会における当区の代表選手73名の中、14名がクラス別で1~3位までに入賞し、好戦績を挙げる事が出来ました。



編集後記

昨年の夏、リオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピックが行われ、早いものであの感動から半年が経とうとしております。

大会種目においては、数多くの入賞者が誕生し、東京オリンピック・パラリンピックに向けて大きく弾みがついたのではないのでしょうか。3年後は日本での開催、大会会場等でのハード面の部分、選手育成部分でのソフト面の部分、それぞれ様々な課題が山積しています。また、ボランティアの部分においても、私たち区民が丸となり、一致協力していかなければ成功はあり得ないのではないのでしょうか。

普及指導委員会 山崎 積